

## 北九州市立図書館指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 第1回検討会 平成30年9月27日(木) 13:30~15:30  
第2回検討会 平成30年10月5日(金) 9:30~12:00
- 2 場 所 第1回検討会 北九州市立生涯学習総合センター21 会議室  
第2回検討会 北九州市立中央図書館館長室
- 3 出席者 (検討会構成員) 宮本構成員、中尾構成員、植木構成員、  
尾場瀬構成員、増田構成員  
(事務局) 教育委員会中央図書館館長、庶務課長、奉仕課長、奉仕係  
長、庶務係長、担当者

### 4 会議内容

#### 第1回検討会

- 構成員の互選により、座長の選出
- 議事次第、選定基準、採点上の注意事項等について、事務局より説明。

- 応募団体(株式会社日本施設協会)より若松図書館及び八幡図書館の提案概要に関してヒアリング及び質疑応答

(構成員) 地域に密着して素晴らしいと思う。武雄市で話題になった図書館もあるが、八幡図書館も選ばれたならば、将来どんな図書館ができるかを聞かせてもらいたい。

(応募団体) 武雄市図書館は、開館後すぐに見学した。北九州市の指定管理とは、全く違う指定管理と思った。館内では本の販売、カフェも全国大手が入居している。

本来の指定管理者は、費用を抑えた中で、より良い市民サービスを提供するものと考えている。限られた中で最大限のサービスを行い、市民に喜んでもらえる。そんな指定管理者を目指していく。

(構成員) 若松図書館の強みは何か。八幡図書館だったらどういうテーマを考えて運営されるのか。今は北九州市でも昔は5市、それぞれに特徴があつて譲れないものがあつたと思う。そこを打破するようなテーマやキャッチコピーとかを募集して付けるとかできないだろうか。

それぞれの館長さんに関わってくるものと思う。先程言われた方針と、館長達とはどの程度の話し合あっているのか。それとも任せているのか。どの程度のバランスを取っているのか。

(応募団体) 月1回幹部会で、全館長・次長が集まり協議している。読書手帳「よもっちゃ」のアイデアも、門司の次長から出たが、今の時代に逆らつて、手作りが面白いと思う。コンピューター使つて高価なお金を使えばできるが、手作りなのがおもしろいと思つて、是非やろう、とりあえず走ろう、やりながら改善しようと考えた。

(構成員) チャレンジすることがないと単なる貸館。地域密着と言いながらマンネリ化してし

まう。3年スパンで変わっていく。若松であればエコや環境だが、市民に対してアンケートを取って、健康講座がいいとか、あえて区ならではのという発想で運営してもらえると楽しくなると思う。

読書手帳も全国で実施しているところも多く、非常に評価が高い。大人でも欲しくなる。是非、経費節減しながら、地域密着しながら、地域で何ができるのか、地元企業ならそれがわかると思う。そこを強みにしながら、思い切った運営をしてもらいたいと思う。

(構成員) 限られた予算の中で、経費節減と新たなチャレンジを両立することは、なかなか難しいことと思う。苦勞されていると思う。図書館は中期的な視点で運営されることが望ましい。プレゼンで話していた学校との連携、指定管理者が学校図書館とコンタクトを取った事例があるのか。出前セミナーをしているが、実際、図書館から学校へブックトーク等で派遣した事例はあるのか。

(応募団体) 若松図書館の学校連携は、学校の先生が団体貸出カードを作る。その後、よく電話でこのような図書がないかの相談があって、適切な本を紹介する協力体制を取っている。

出前セミナーに関しては、小学校から要請があり、ボランティアバンクを通して、各図書館に登録しているボランティア団体を紹介してもらっているが、ボランティア団体からの相談に、図書館としてアドバイスしている。

(構成員) レファレンスの向上について、職員全体の向上に努めているのか、機械で本を探すようなことか、個々の知識のレベルアップとして行っているのかを知りたい。

(応募団体) 最終的な目標は、どの職員もどんなレファレンスに対応できるのが一番だが、それぞれ得意な分野、不得意な分野があるので、レファレンスを受けた際、記録を取り、職員で情報共有する。リスト化することで、どの職員でも、新人でもベテランでも、平等に資料の提供ができるように取り組んでいる。

(構成員) 部門、部門のエキスパートを育成し、パソコンでできる限り情報を共有し、更にプラスのレファレンスができたらいいなと思う。

(構成員) 学校司書とコラボして研修することはあるのか。

(応募団体) 昨年度、学校司書研修会場となった際、図書館職員が講演した。引き続き協力体制として学校司書からの質問に答えていくという話をしている。

(構成員) 学校との連携は図書館に見学に来るだけでなく、司書と交流し、学び、スキルも上がっていくような活動を是非行ってもらいたい。

(応募団体) 図書館からは、見学はもちろん、学校図書館司書と連携、児童生徒へ上手な図書館利用方法の紹介、出前での読み聞かせ会などを、新学期になれば学校へお知らせし、要請を受けるだけでなく、図書館からも情報発信して関係を深めて色々な連携を行いたいと考えている。

(構成員) 八幡図書館の場合、御社に変わった場合、市民から見て変化がイメージできるものか。運営が変わることでメリットが感じられるかどうかポイントになる。

市民からメリットが見えるかどうか、そこを聞かせてもらいたい。

(応募団体) 色々な行事の数でも負けていない。同じように八幡図書館の指定管理になれば、戸畑・若松・門司でやっていることをしっかりやっていく。なおかつ八幡独自の色を出していきたい。

(構成員) 図書館は、待ちの商売と思われるが、館長とか職員が外へ出ていくことでPRになると思う、その点はどうか。

(応募団体) その点は、セミナーになる。10数年前、初めて戸畑図書館に手を挙げた際、よく考えれば戸畑図書館へ、中学生、高校生になってから行っていないことが自分自身の

実感だった。多分、ほとんどの方が中学・高校生の受験勉強ぐらいまでで、大人になってからほとんど行ってない。大人になっても寄り付く図書館にしたいと思った。

それで色々な企画をして、まず図書館へ足を運んでもらう。その結果として、貸出冊数とか数値が伸びたらいいと思う。

まずは来てもらおうと、人を呼び込む事業を展開している。

(構成員) 館長など職員が外へ行って、人を呼び込む作業をしているか。

(応募団体) PRしている。

○ 応募団体 (株式会社図書館流通センター) より八幡図書館の提案概要に関してヒアリング及び質疑応答

(構成員) トータル的にプレゼンし、やはり全国的な会社と実感した。新たなイベントの企画、地域との連携も図れているような気がする。

他の図書館や地域に比べて、ここが優れているというPRがあれば教えて欲しい。

(応募団体) 当社として自信があるのは研修体制。

勤務の中で研修をさせていて、福岡市に新たな社屋を建て、80名入る研修室を作った。最低でも毎月1回定期的に30~40名スタッフを九州内から集めて研修を積んでいる。ここは他社に負けない自信がある。

(構成員) 従業員満足を上げ、顧客満足へつなげていく体制を取っているということか。

(応募団体) はい。指定管理者は民間で専門性が薄い、継続性がないと言われることへの答えでもある。

(構成員) 地域密着に対する御社の差別化要素は何か。

(応募団体) 先程紹介した「調べる学習コンクール」は、人造りのため、子どもたちが、きちんと学習ができることを目指している。これも地元貢献になると考えている。もちろん先程発表したとおりの様々なイベントも行っていく。

(構成員) 北九州市はボランティアバンクを持っている。例えば、中学校からブックトークをして欲しいと要請があれば、ボランティアバンクへ連絡があり、ボランティアバンクへ登録している団体へ連絡がある。

研修を厚くしている御社が、シフトを調整して中学校1~3年生のブックトーク授業へ出向くことは、他都市も含めて事例はあるのか。

(応募団体) 八幡図書館に限ると、「お昼休みのおはなし会」として事業計画している。給食後の昼休みに学校図書室等でのおはなし会へ出張するという事業である。

今、実施しているのは、市民センター、老人施設、八幡病院等での読み聞かせを常日頃から実施している。子どもの館の読み聞かせ講座など外部への出張、出前講座は行っている。要請があれば、いつでも、どこでも行くというスタンスで構えている。

(構成員) 手厚い研修をしているのであれば、地域のボランティアへ研修をする講座を開くところまで行けばいいと考える。

(構成員) 近隣との連携、小学校との連携、福祉体験活動などあるが、学校の中には家庭教育学級とか、保護者に向けた勉強する機会がある。

子ども達には図書館があるので本を通じて交流はあるが、保護者に向けてどのようなメッセージを持っているのか。図書館見学や講座などがあるが、講座の内容を含めて教えてもらいたい。

(応募団体) 図書館の中では、読み聞かせ後、本の選び方とかを教えている。

これから子ども図書館ができ、学校との連携を密にする中では、学年集会で保護者へ本の選び方とか説明しようと考えている。一回、市民センターへは出向いたことが

あるので、これから機会があれば、どんどん出向いていきたい。

(構成員) 特に保護者向けであれば、市民センターと連携してやりやすい。そういう事例をたくさん増やしていただきたい。

図書館側からも働きかけをして、保護者と一緒に家族で取り組めば、家読（うちどく）にもつながる。

イベントも大事だが、保護者と一緒に子ども達の本が豊かになる、地道な活動にも、もう少し取り組んでもらえるといいかなと思う。

(構成員) 計画では貸出冊数とか伸びているが、実績はどうか。

(応募団体) 昨年度の実績は、貸出冊数は八幡図書館だけで毎月平均約19,000冊、今年8月だけ捉えると約22,000冊になっている。来館者数は毎月平均1万2千人程だが、8月だけ捉えると1万5千人程となっている。

館が新しくなった時は、かなりの方に来ていただいた。貸出冊数、貸出人数を増やすためには何をしたらいいのか、図書館に来ていただければならない。まずは足を運んでもらうためには何ができるかを行いたい。

(構成員) 年齢別の来館者数、貸出者数は掴んでいるか。

(応募団体) 年齢別の合計はでないが、八幡東区の約6割が高齢者。人口密度から言うと高齢者がメインとなる。

(構成員) 全国的な組織だから成功事例をもっと北九州市へ提供して欲しい。

○ 次回の検討会で、各構成員が検討シートを持ち寄り、検討会としての審査結果を取りまとめることを、事務局より説明し、第1回検討会終了。

## 第2回検討会

- 構成員は、若松図書館及び八幡図書館に対する応募団体の提案内容のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を発表、その後、構成員全員で意見交換を行った。

### 若松図書館（島郷分館含む）

#### ・「適性」についての意見

(構成員) イベント回数は少ないが子ども向け、また大人から高齢者向けの生涯学習イベントを設けている。

(構成員) 地域密着イベントを実践している。

(構成員) 提案書中の「地域に必要とされる、愛される施設」のとおり、適性な管理運営と考えられる。

(構成員) 地域の特性を生かした郷土の歴史の学びや、成人・子どもの読書奨励活動では成果が出ていることや、地道に他施設などと連携を取り運営され、地域に根差した連携は評価できる。

(構成員) 地域に根ざした団体ということで、管理している他の市立図書館における取り組みを水平展開できるという点は評価できる。

(構成員) 他にも施設を運営している実績がある。マンネリ化せず、新展開で充実した運営を望みたい。

(構成員) 北九州市内および福岡県内の各種施設の管理業務を行っていること、また、複数の市立図書館の管理を現在行っていることなどから、長期にわたる安定的な管理が可能だと考える。

(構成員) 他施設運営の実績があり職員の資格や経験はあるので評価できる。  
読書会は多いが新しい発想の工夫が不足だと感じる。マンネリ化を打破して欲しいという希望がある。

(構成員) 北九州市における図書館運営の実績もあり、その評価も一定のレベルである。

#### ・「有効性」についての意見

(構成員) 取組は良いと思うが、時代の趨勢や利用者増加のためにもSNSの活用は早めの検討をお願いしたい。

(構成員) 人的に非常に良いスタッフに恵まれている。分館運営も地域サポーターを活用して活性化している。

(構成員) 各種イベントを定期的で開催し、図書館に人を呼ぶ取り組みを提案している。また、読書手帳の配布は面白い試みだと考える。

(構成員) 今後、学校とのタイアップも考えていることを期待している。

#### ・「効率性」についての意見

(構成員) 的確な運営で特に問題はない。

(構成員) 働く方々のケアもお願いする。

(構成員) 節電等が計画的になされている。そのための職員での委員会を立ち上げ、対応策に努めている。

#### ・「適正性」についての意見

(構成員) 学校図書館との連携は、保護者ともつながることから、今後もコミュニケーションを図って運営して欲しい。

(構成員) 図書館職員の体制については一定のレベルにはあると考える。

- (構 成 員) 基本的なことがらについては提案されていて、特に問題はない。  
(構 成 員) 複合施設の長所・短所を把握し、十分に安全対策に努めて欲しい。

- 協議の結果、検討会として評価レベルを、  
適正 (1) 施設の管理運営に対する理念は4、(2) 人的・財政的基盤は4、(3) 実績・経験は4、有効性 (1) 設置目的の達成は4、(2) 利用者満足向上は4、  
効率性 (3) 指定管理料は4、適正性 (5) 管理運営体制は4、(6) 平等利用等は4に決定。
- 事務局は合計得点を発表し、検討会として、株式会社日本施設協会が市の要求水準を満たしており、十分な能力を有していると認められた。

## 八幡図書館 (折尾分館、八幡南分館含む)

### ・「適性」についての意見

- (構 成 員) 日本施設協会は、地元を理解し、熱心な管理運営を持っている。  
(構 成 員) 日本施設協会の地域性を活かした地域大学等との連携は評価できる。  
(構 成 員) 日本施設協会は、管理している他の市立図書館における取り組みを水平展開できるという点は評価できる。  
(構 成 員) 図書館流通センターは、他団体との連携も密でイベントも多いが、もう少し地域課題解決へ目を向けて欲しい。  
(構 成 員) 図書館流通センターは、全国規模で活動を展開している団体であり、全国レベルの図書館サービスを北九州市へ提供できることへの評価は高い。

### ・「有効性」についての意見

- (構 成 員) 両社とも独自イベントを計画している。  
(構 成 員) 日本施設協会の読書手帳は評価できる。  
(構 成 員) 図書館流通センターのキッズサポーター養成に期待し、人みらいプレイスの取り組みは評価できる。  
(構 成 員) 図書館流通センターの「調べる学習コンクール」のような全国規模の企画に児童生徒が触れられ、子供の図書館利用を推進する点で評価できる。

### ・「効率性」についての意見

- (構 成 員) 両社とも経費面で特に問題はない。

### ・「適正性」についての意見

- (構 成 員) 図書館流通センターのeラーニングや自社の研修施設での職員研修は、評価できる。日本施設協会は、内部研修の機会を増やして欲しい。  
(構 成 員) 図書館流通センターの従業員満足の取り組みについて評価できる。  
(構 成 員) 両社とも平等利用、安全対策、危機管理体制などで特に問題はない。  
(構 成 員) 図書館流通センターは、職員の大規模災害時の安否確認システムを導入するなど、評価できる。

- 協議の結果、検討会として評価レベルを、  
株式会社日本施設協会は、  
適正 (1) 施設の管理運営に対する理念は4、(2) 人的・財政的基盤は4、(3) 実績・経験は4、有効性 (1) 設置目的の達成は4、(2) 利用者満足向上は4、

効率性（3）指定管理料は4、適正性（5）管理運営体制は4、（6）平等利用等は4に決定。

株式会社図書館流通センターは、

適正（1）施設の管理運営に対する理念は4、（2）人的・財政的基盤は4、（3）実績・経験は4、有効性（1）設置目的の達成は5、（2）利用者満足向上は4、効率性（3）指定管理料は4、適正性（5）管理運営体制は5、（6）平等利用等は4に決定。

- 事務局は合計得点を発表し、検討会として、株式会社図書館流通センターが市の要求水準を満たしており、十分な能力を有していると認められた。